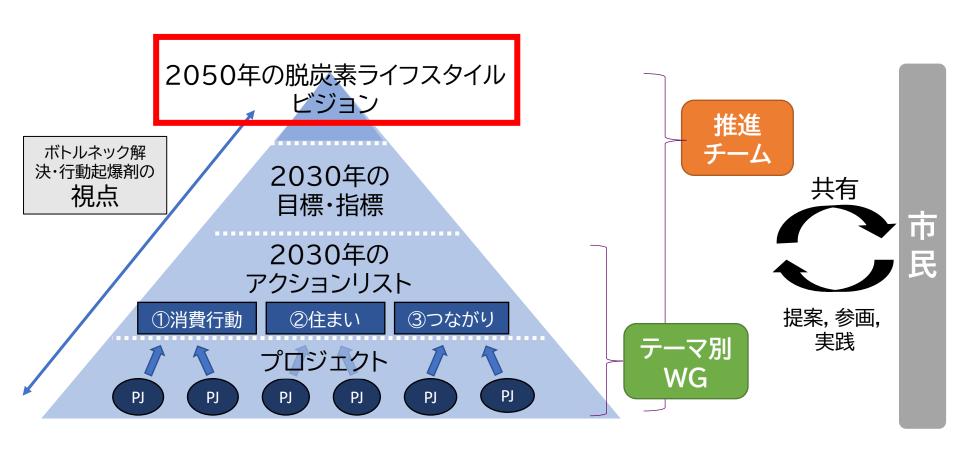
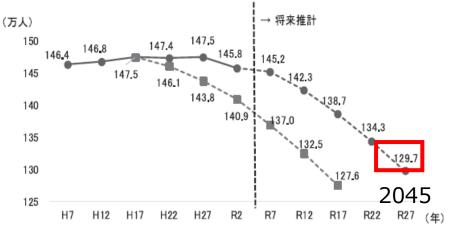
グループディスカッション①



(参考) 2050年の京都: 少子高齢化

京都市:2045年には人口130万人以下,4割弱が高齢者に

京都市の将来推計人口

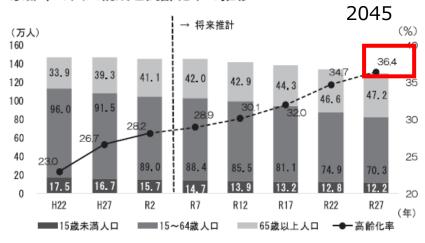


---- 総人口(令和2年度以降は推計) ----- 第2期基本計画策定時の京都市独自推計

資料:総人口(~H27国勢調査結果,R2京都市推計人口,R7~国立社会保障・人口 問題研究所「日本の地域別将来推計人口」) 第2期基本計画策定時の京都市独自推計(平成22年3月コーホート要因法に

よる京都市独自推計)

京都市の人口構成と高齢化率の推移



資料:総人口(~H27国勢調査結果,R2京都市推計人口,R7~国立社会保障・人口 問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

第2期基本計画策定時の京都市独自推計(平成22年3月コーホート要因法による京都市独自推計)

注 なお, 各値は少数第二位で四捨五入を行っているため, 本文中の数値と必ずし も一致しない。

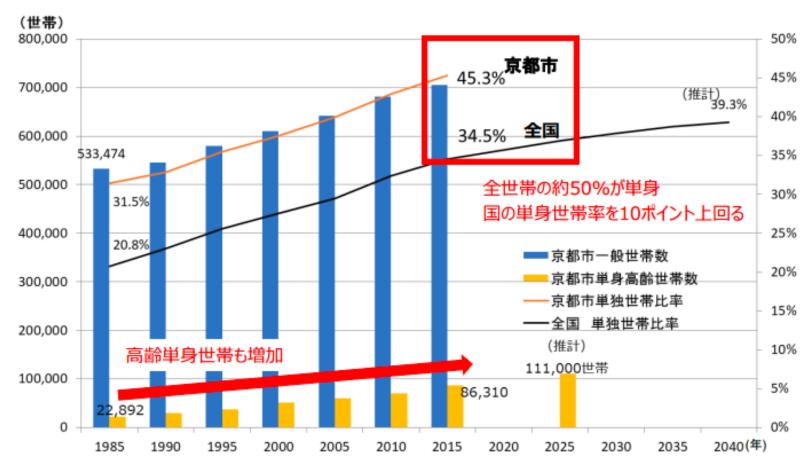
参照:京都市はばたけ未来へ!京プラン2025

https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000281334.html

(参考) 2050年の京都: 単身世帯化

京都市:2015年時点で全世帯の45%が単身世帯。

全国平均を10ポイントを上回り高齢単身世帯も増加。



京都市https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000256/256340/houkoku.pdf

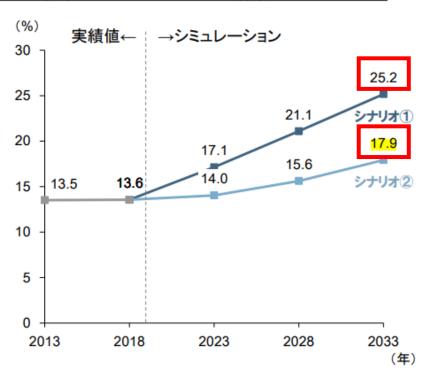
(参考) 2050年の京都:空き家化

全国:2033年には18%~25%が空き家に

今後の除却率のシナリオ

(%)実績値←⊹ →シミュレーション 90 82.7 82.7 82.7 80 シナリオ(2) 70 62.0 60 50 40 30.3 30.3 30.3 30.3 30 シナリオ① 20 10 0 2008-12 2013-17 2023-27 2028-32 2018-22 (年度)

空き家率のシミュレーション結果



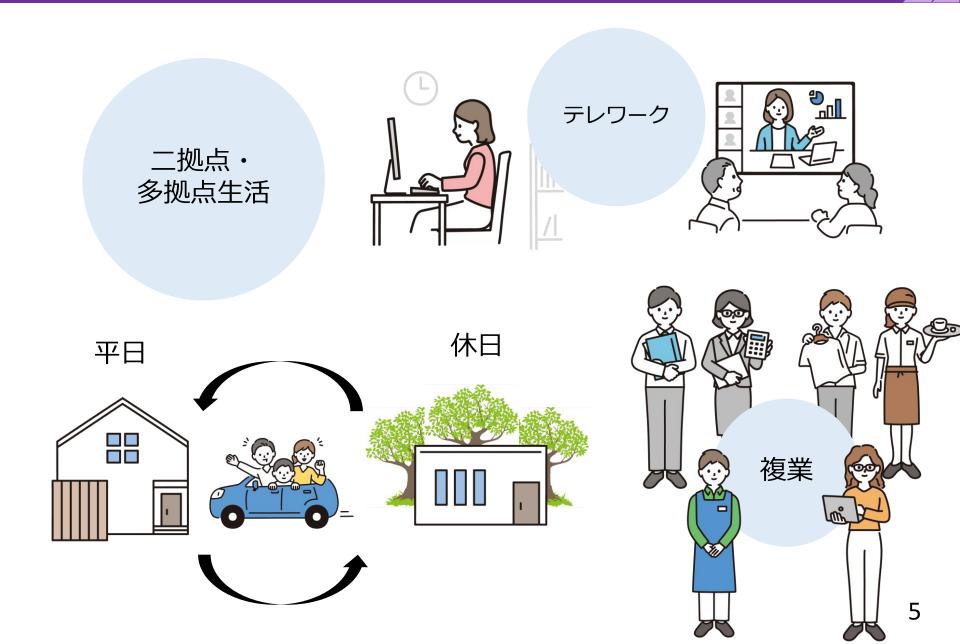
シナリオ①: 今後、2008-12年度の除却率(30.3%)の水準が続くシナリオ

シナリオ②: 空き家特措法施行後(2015-17年度)に除却が進んだと仮定した場合の除却率(82.7%)が 今後も続くシナリオ

実績値:国土交通省「住宅着工統計」、総務省「住宅・土地統計調査」よりNRI算出、シミュレーション値:NRI Copyright(C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved 18

参照:野村総合研究所「2030年の住宅市場と課題」

(参考) 2050年の京都:暮らし方の変化



(参考) 2050年の京都:テクノロジーの変化



ビッグデータ・ クラウド・5 Gで あらゆる情報が つながる マザーシステム 革新的な 移動技術



食料技術の進展 (代替肉・魚)

パーソナライ ズ/オーダー メイド化され たAI提案

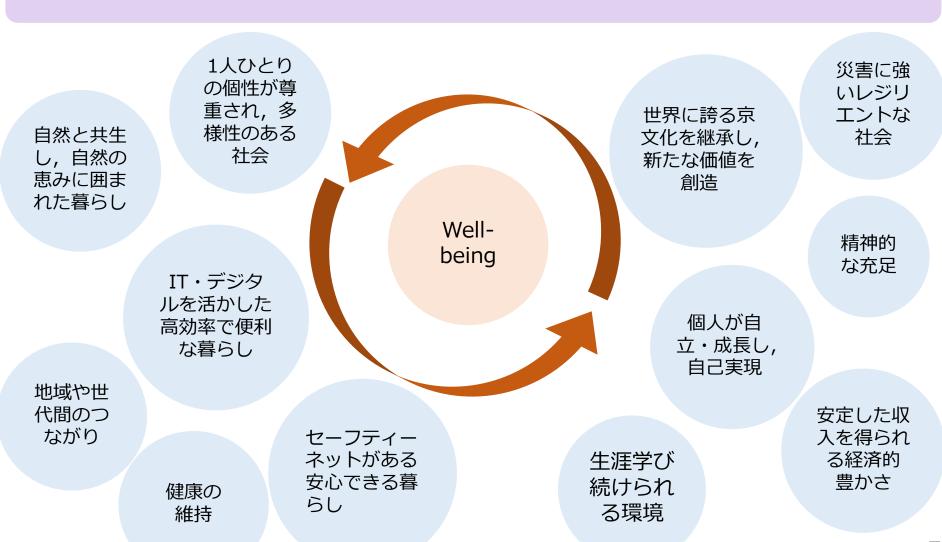


仮想現実 (VR), 拡張現実(AR), 複合現実 (MR) の発達 医療技術の進展(健康不安 の解消)



2050年の豊かさとは?

well-being (持続的に心身と社会的な健康が満たされ,満足度の高い状態)



2050年のサステナブルなライフスタイル(イメージ)

ミニマルな暮らし消費行動(衣類・食品・その他の消費行動)豊かさ

超スマートな暮らし 住まい (ハード・ソフト)

結う暮らし つながり (移動・働く・地域活動)

私たちが生きる基盤である地球の気候変動対策は サステナブルなライフスタイルを支えるもの

ミニマルな暮らしのイメージ



超スマートな暮らし(イメージ)



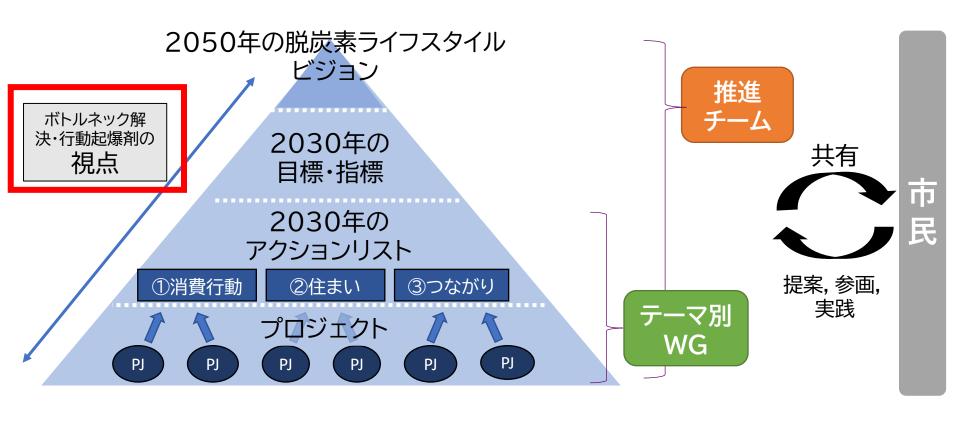
結う暮らし(イメージ)

- ◆ 地域のコミュニティや世代間, 地域のコモンズである自然資本とつながることで安心を取り戻す暮らしへ
- 弾力性のある緩やかなつながりにより支え合い,孤独・貧困・過疎・ 里山管理など地域課題×環境課題に向き合うことが,豊かさにつながる 暮らし
- 複業・多業や二地域・他地域居住など都市部と山間部を行き来が,地域の元気にもつながる暮らし
- 自然との共生による,地域の自然資源を活用した伝統文化や地域の祭りなどの継承,地域の魅力の向上
- 環境課題解決型ビジネスに取り組む中小企業・スタートアップ・NPO 等が集積するエコシステム
- 地域や多世代ぐるみで取り組む環境教育

グループディスカッション①

(議題1) 2050年にあなたや市民の暮らしから出るCO2 が正味ゼロとなると同時に,豊かで幸せな ライフスタイルとして,どのようなものを目 指すか?

グループディスカッション②



(参考)2030年のアクションリスト(イメージ)

テーマ1:消費行動

	衣	食	その他
●調達	環境配慮商品の購入, 必要な量だけ購入		
	サブスクリプション 古着を購入	家庭菜園・市民農園 代替肉の購入 販売期限間近の商品を購入	量り売り
● 消費	長く利用する 古着・リメイクファッション	余った食材を活用する(おばんざい) 食べ残し料理の持ち帰り	日用品を長く利用する
リユース	フリーマーケット リユースショップ	フードドライブ フードバンク	フリーマーケット リユースショップ
● リサイクル 廃棄	繊維のリサイクル 利用できなくなった素材回収 分別排出	食品のリサイクル 野菜くず等をたい肥化・回収 分別排出	修理できなくなった日用品を回収 廃棄物のアップサイクル製品創出
			CHOMOO CHOMOO

(参考) 2030年のアクションリスト(イメージ)

テーマ2:住まい

ハード面

【新築】

- ZEH(ゼロエネルギーハウス)
- 環境配慮マンション,シェアハウス
- 市内産木材の活用

【既存】

- 既存住宅の環境性能向上(断熱リフォーム)
- 既存住宅に再生可能エネルギー,蓄電池を導入
- 家,家具,家電,太陽光パネル等を,修理しながら長く使う







ソフト面

【エネルギーの使用】

- 再エネ電気の使用
- 省エネ行動の徹底(節電,節水等)
- エネルギーの使用量を見える化
- EVを電池として活用

【その他】

- グリーンカーテンや打ち水など自然で暮らしやすい工夫
- 植物を育てる
- 家具や家電について環境配慮商品を購入
- 家具や家電についてPaaSの利用
- 修理できなくなった家電等は回収





【移動】 • 公共

- 公共交通機関の活用
- シェアリングサービス(車・自転車)の活用
- エコカー (EV・FCV) の活用

テーマ3:つながり

【働く】

- 自然豊かな郊外でのワーケーションの実施
- テレワークの実施
 - 京都の大学生が京都で就職

【地域活動】

- 地域で電力を融通している
- 地域団体でのエコ活動
- 地域や世代間での環境教育
- 地域で資源が循環
 - 地域のお店で購入・修理
 - 消費者と事業者の顔の見える関係

B B

【自然環境】

- 自然を楽しむ文化が当たり前
 - 生物多様性,レジャー,サイクリング
- 地域の緑や自然,森川の恵みを大切に











グループディスカッション②

(議題2)

・市民の皆様の行動変容を促していく際のボトルネックや, それを突破して市民の皆様のアクションを誘発していくために必要な視点とは?

今後の進め方:推進チーム(案)

第1回会議

(到達目標)

2050年の脱炭素ライフ スタイルのビジョン, ボ トルネック解決のための 視点の発散

(議題)

2050年の脱炭素ライフ スタイルのビジョン のイメージ

ボトルネック解決のた めの視点(解決の視 点)

第2回会議

(到達目標)

ビジョン,解決の視点の 集約 2030年の目標・指標, アクションリストの発散

(議題)

ビジョン・解決の視点 まとめ

2030年の目標・指標の 案

2030年のアクションリ ストの案

第3回会議

(到達目標)

目標・指標、アクションとりまとめ リストの集約

(到達目標)

(ビジョン, 目標・指標, アクションリスト等)

第4回会議

(議題)

(WGの議論をふまえ) 目標・指標, アクションリスト

・プロジェクトの方向性 ・フラッグシップ的に進

めるプロジェクト

(議題)

とりまとめ(ビジョン, 目標・指標、アクショ ンリスト等), ビジョンのキャッチコ ピー

次回までのお願い

今日議論した脱炭素ライフスタイルの実践に向けて,この10年間であなたが取り組んでみたいアクションについて考えてきてください。

※できれば、2030年のアクションリスト(イメージ) (P14,15) に無いような、新たなアクションのアイデアもいだければ幸いです。

※ワンフレーズでもOK,構想程度で構いません。

様式:自由(メール文に直打ちでも構いません)

締切:会議の1週間前までにメールでご提出ください。

次回の会議予定

第2回推進チーム会議

日時:未定(10月~11月上旬)

時間:未定(2時間)

場所:ハイブリッド型(zoom + 会場)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる場合がございます。

次回の議題(予定)

- ✓ 2050年ライフスタイルのビジョン(案),ボトルネック解決の視点の共有
- ✓ 2030年アクション案(宿題)の共有,検討
- ✓ 2030年の目標・評価指標の検討